

USPTO、AI ツールによる自動先行技術調査の試行プログラムを開始

2025 年 10 月 8 日
JETRO NY 知的財産部
蛭田、赤木

USPTO は、10 月 8 日、特許出願の実体審査前に、AI ツールによる自動先行技術調査の結果を出願人に通知する試行プログラム「Artificial Intelligence Search Automated Pilot (ASAP!) Program」を開始する旨公表した¹。USPTO は、本試行プログラムにより、先行技術文献調査における AI ツールの有効性を試す狙いがあるとしている。このプログラムを通じて、特許審査官による実体審査の前に当該出願に関する潜在的な先行技術を出願人が認識でき、自発的な補正や出願の放棄といった手続・対応の促進が期待されている。

官報²によれば、本試行プログラムの主な内容は以下のとおりである。

- 対象となる特許出願は、本年 10 月 20 日以降に電子的に出願された通常出願であり、継続出願や仮出願は対象外とされる。また、意匠（デザイン特許）出願や国内移行された国際出願なども対象外とされている。
- 本試行プログラムの適用を希望する場合、出願人は、所定の手数料の納付とともに申請を行う必要がある。不備により申請が却下された場合、不備を是正する機会はなく、再申請もできない。
- 自動先行技術調査は、USPTO の AI ツールにより、特許分類（CPC）、明細書、クレーム、要約などの出願情報を基に、複数の公開文献データベースから、外国特許文献も含めた近似する情報・文献を検索することで行われる。
- 自動先行技術調査の結果（Automated Search Results Notice : ASRN）は、AI ツールにより特定された 10 件以下の文献がその近似性に応じて列記される形で、出願人に通知される。出願人は、ASRN に対して応答する義務はない。
- この試行プログラムは、本年 10 月 20 日に申請受付が開始され、①2026 年 4 月 20 日または②審査部門（TC）あたり 200 件以上の申請を受理した日³、のいずれか早い日まで継続され、申請受理合計数に関する情報は USPTO ウェブサイトを通じて提供・更新される予定である。

USPTO は、本試行プログラムについて、実体審査に先立ち潜在的な先行技術を認識できる点で出願人にメリットがあることに加え、特許審査官においても先行技術文献を特定する新たな手段となることから、特許審査の品質向上・効率化にも資するものであると説明している。

（以上）

¹ USPTO launches new AI Pilot for pre-examination utility application search

² Automated Search Pilot Program

³ USPTO は、全審査部門（TC）合計で 1,600 件以上の申請受理を予定している。